

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.61

南信州フィールドスタ ディに参加して

京都府立大学公共政策学部3回生

たけもと ねね
竹本 寧々 (京都府京都市出身)

フィールドスタディの活動を通して、飯田市の皆さんは地域愛にあふれていて、団結力と行動力があると感じました。

今回のフィールドスタディのミッションは、「10年後の『世界人形劇フェスティバル』に県外・海外から観光客を呼び込むための施策を提案する」というものでした。

「“飯田らしさ”とは何か」の答えを求め、農家民泊やいいだ人形劇フェスタで聞き取り調査を行ったり、飯田でまちづくりに携わる方々の講義を聴いたりして、分かった情報を基に、班で話し合いを重ねました。さまざまな方との出会いを通じ、気付かされることも多くありました。

聞き取り調査に答えてくださった方々は、飯田の魅力について熱く語ってくださいました。また住民の皆さんは、まちの課題の解決のために自ら立ち上がり、協力して取り組む心構えを持っていらっしゃいました。りんご並木や千代の保育園のお話などは特に印象的でした。大好きなまちだからこそ、まちのためになりたい、そんな素敵な精神を持っていらっしゃる住民の皆さんそのものが、飯田の魅力ではないかと思いました。



農家民泊先にて